

2023年(令和5)年度 社会福祉法人こぶしの会 年間事業報告

■はじめに

新型コロナウイルス感染症は5月に2類から5類に変更されましたが、法人としては、感染防止対応・対策を引き続き進めてきました。一方で、日常生活や行事は、できる限りコロナ前に戻すようにしてきました。そうした状況を踏まえ、2023年度は法人としての実践・経営を行ってきました。

■具体的な取り組み

1. 感染症や災害への対応

□仲間・職員の健康と事業活動とを両立させながら新型コロナ感染症の対応・対策を行う。

※ 2類から5類への変更後に、対応・対策マニュアルを変更しました。基本的には、これまでの方針は大きく変更せず、3月までは継続して従来通りの対応を行いました。

※ 奈良市や保健所への働きかけや情報収集は、常務理事を中心に言い連携に努めました。

□大規模自然災害に備えた業務継続計画の論議や研修を実施する。

※ 法人としてBCPを作成し、それに基づき個々の事業所の論議を進めました。

法人全体研修で東日本大震災時の経験とその後の取組を聞き、防災について深めました。

※ 防災用品の備蓄・点検を実施し、こっからでは仲間の部屋の大きなガラスに破損防止フィルムを張るなど、対策を行いました。

2. 新規事業、事業拡大

□仲間の生活を支えるために、新規事業、事業拡大を行う。

※ 具体的な検討はできていません。既存GHの移転改修や新規GHの開設等の課題については引き続き検討する場を設定し、進めたいと考えます。

3. 財政基盤の確立・強化

□法人の将来を見据え、財政の安定化を図る。

※ 新規利用者がこっからで1名増えました。法人財政は、5期連続の黒字決算となりました。長期的な経営運営を見通した今後の施設改修や設備改善、人件費の在り方などを考慮し、積立て金の確保に取り組みました。

4. 職場の改善

□職員が働きやすい法人になるため、職場組織、労働条件等を改善していく。

※ 勤怠管理システム導入を現状との調整を行いながら、進めてきました。GH勤務者のシステム利用には、働き方の多様性から、課題を残しました。

※ 職員の働き方については、休暇・休憩時間、残業など、討議しながら対応を行いました。

5. 職員の適正配置、人材確保

□法人、各事業の運営、実践を踏まえ、人材確保(求人)を行う。

※ 今年度も退職等に伴う人員不足を補うための緊急の職員確保に終始しました。とりわけGHではコロナ禍の影響も大きく慢性的な人材不足に悩まされました。年度後半からは人材確保に向けたチームを編成し、主に将来の法人経営を担う世代の募集を増やすための求人ツール(法人紹介パンフレットやビデオ作成など)作成を進めました。

※ 福祉就職フェアへの参加や転職紹介サイト等の活用も行き、職員確保に取り組みました。

6. 地域や関係団体との共同・連携

□地域や関係団体との協力・共同を進め、法人の公益性を高める。

- ※ 法人内の全事業所と家族会との共催で、こっから祭を4年ぶりに開催することができました。今回は従来のような地域全体を対象とした大規模イベントとしてではなく、後援会員さんや日頃からお世話になっている関係機関など招待制のお祭りとなりましたが、久しぶりの再会で笑顔の交流ができました。
- ※ コロナ禍においても定期的に「ここに市」を開催し地域ニーズに応え、地域ボランティアと一緒に公園清掃活動(クリーンコミュニティ)にも取り組みました。

7. 職員の育成・実践の質の向上

□継続的に研修や会議等を行い、仲間支援の質的な底上げを行う。

- ※ 法人全体研修、方針・総括会議など全職員を対象とした学ぶ機会と職場会議やケース会議など各事業所での情報共有や実践交流を定例化しました。
- ※ 「虐待防止委員会」や「身体拘束適正化委員会」を開催し、法人内での虐待防止に努めるとともに支援の質向上に取り組みました。
- ※ 外部研修への派遣や参加費補助も積極的に行ってきました。また外部から大学研究者や他法人の管理者・職員を講師として招き、大規模自然災害への備えや職場内でのハラスメント、福祉労働者としてのあり方等を学びました。

■コミュニティワークコッから 事業報告

1. 施設の概要

- ① 施設名 コミュニティワークコッから
- ② 所在地 奈良市古市町529-4
- ③ 開設日 平成14年4月1日
- ④ 施設種別 生活介護
- ⑤ 定員 36名
- ⑥ 建物等 敷地面積1,323㎡ 規模及び構造597,20㎡(1階鉄筋平屋建て)
- ⑦ 作業内容 食品製造(パン・クッキー等/とうふ) 紙すき・印刷 軽作業・配達・活動
- ⑧ 施設職員 31名(委託職員を除く)
常勤正規/14名 非常勤/19名

2. 利用者の状況(2024年3月31日付)

- ① 利用者数 47名(男性24名/女性23名)
- ② 平均年齢 38.8歳(21歳~65歳)
- ③ 平均程度区分 4.9
- ④ 障害手帳 療育手帳A(39名)/B(6名) 身障手帳(4名)
- ⑤ 居住地 奈良市(44名) 大和郡山市(1名) 生駒市(1名)
- ⑥ 通所方法 単独通所 送迎バス利用 自宅送迎 家族送迎
- ⑦ 利用時間 9:30 ~ 16:00
- ⑧ 給料 日給制(個別給) 1,000円 650円 400円 300円
賞与(年間1ヶ月)
今期 3,000円/月 6,000円/月
- ⑨ 行事 季節ごとに実施 ※別項目参照
- ⑩ 負担金 実費負担/食費(減免措置有り)、旅行積み立て、自治会費
- ⑪ 自治会活動 週1回程度の当事者役員会

3. 施設運営

- ・どんなに重い障害があっても「働く権利を有する事を保障し、1人ひとりの「はたらく」を通じ人間的に成長、発達すること、すべての障害のある人たちの権利保障をめざし活動する
- ・障害のある人の生活支援を通じて、誰もが安心して豊かに暮らせる地域づくりをめざす
- ・障害のある人が主人公として地域で暮らしていく拠点として、生活全般を支援する活動をする

4. 利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	平均
営業日数	20	22	24	22	22	22	22.0
登録者数	46	46	46	46	47	47	46.7
総利用者数	864	749	926	864	871	889	856.8
1日平均利用数	43.2	34.0	38.6	39.3	39.6	40.4	39.0
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	前年度比
営業日数	23	22	22	21	21	23	102%
登録者数	47	47	47	47	47	47	101%
総利用者数	899	867	850	795	825	882	97%
1日平均利用数	39.1	39.4	38.6	37.9	39.3	38.3	96%

5. 助成事業・寄付等

- イオンビッグ株式会社 様
イオン幸せのイエローレシートキャンペーンで、ビッグエキストラ大安寺店様よりギフトカードを寄贈していただいた。
- イオンリテール株式会社 様
イオン幸せのイエローレシートキャンペーンで、イオンスタイル奈良様よりギフトカードを寄贈していただいた。
- 株式会社カーブスジャパン 様
株式会社清水商店カーブス事業部[カーブスアルプラザ木津店様・カーブスガーデンモール木津川店様、カーブスJR奈良店様、カーブス奈良パワーシティ店様]、アドバンステクノロジー株式会社ウエルネス事業部[カーブスイオンタウン天理店様]より、フードドライブ活動として食材品・日用品を寄贈していただいた。
- 雇用開発助成金(特定就職困難コース)
- 福利厚生センター健診費用助成
30歳以上の会員の生活習慣病予防検診の一部助成
- 株式会社オービス総研様
はじまるくんパソコン(リユースパソコン)を2台寄贈していただいた。
- 地域の方より たくさんのお野菜をいただいた。

6. 事業活動

授産事業

	パン工房	喫茶・店舗	紙漉き	とうふ工房	リサイクル	下請け作業他	事業販売
事業収入	5,362,351	65,857	306,888	3,392,590	44,580	328,483	2,204,271
前年度比	116.4%	98.7%	78.1%	124.0%	106.6%	145.0%	119.4%
材料費	2,812,255	190,284	117,293	2,320,088	0	1,749	1,755,177
前年度比	102.2%	66.2%	58.3%	107.4%		1.6%	
労務費	838,300		557,250	1,034,500	538,500		
経費				1,980,775			
減価償却費				474,756			
支出合計				12,620,927			

合計

収入	事業収入合計	11,705,020
支出	材料費	7,196,846
	労務費	2,968,550
	経費	1,980,775
	減価償却費	474,756
	支出合計	12,620,927
収支差額	-915,907	

出張販売

	内 容
4月	
5月	
6月	
7月	
8月	きららの木「夏のつどい」出店販売、特定非営利法人ともに「すくすく夏祭り」出店販売
9月	奈良育英中学校文化祭出店販売
10月	護国神社秋の大祭
11月	カトリック幼稚園保護者会販売会 / たんぼぼの家秋祭り販売会
12月	奈良県庁販売会 出店 / さくら夢フェスタ(都南中学校)出店販売
1月	
2月	仔鹿の広場販売会
3月	椿祭り(護国神社)販売会

定点販売

デリカカフェいぼ	火・木	とうふ
いっぼ	火	食パン
ヘックスハイブ	月～金	食パン
社会福祉法人協同福祉会	月4回	洋菓子
花しば	金	とうふ
木のうた(奈良店・西の京店)	火・金	食パン、とうふ
NPO法人ともに「すくすく」	月	食パン、とうふ
奈良おおの農園	月2～3回	洋菓子
奈良教育大学付属小学校	月3回	とうふ
call	火	とうふ

7. 行事等

各月行事・イベント

	内 容
4月	きょうされん奈良支部利用者部会街頭署名(JR奈良駅)
5月	こっから仲間・職員みんな会議 / 日本財団社会貢献機能付き自動販売機設置
6月	遊休農地解消活動モデル甫場にて玉ねぎ収穫へ参加 / こっから家族会総会開催
7月	地域別福祉就職フェアIN大和郡山出展(大和郡山イオンホール)
8月	
9月	健康診断
10月	入所式
11月	こっから祭り / 東大寺ビック幡デザイン採用作品見学
12月	こっから仲間旅行(日帰り) / クリスマス会
1月	初詣(全体) / 書初め / 成人式
2月	
3月	福祉・保育のお仕事フェア出展(奈良コンベンションセンター)

8. 見学・研修

施設見学・研修来所

日付	来所者	人数
4/4	個人 見学来所	1
4/6	個人 見学来所	1
4/7	個人 見学来所	1
5/2	個人 見学来所	1
6/12	個人 見学来所	1
7/7	個人 見学来所	4
7/21	個人 見学来所	1
7/21	個人 見学来所	1
7/24	個人 見学来所	1
8/4	個人 見学来所	1
8/8	個人 見学来所	1
8/24	個人 見学来所	1
10/24	個人 見学来所	1
1/18	個人 見学来所	1
1/30	個人 見学来所	1
3/5	個人 見学来所	1
3/12	個人 見学来所	1
合計		20

体験・実習

日付	来所者	人数
8/1	奈良東養護学校(2年生) 職場体験実習 ~2日	4
10/17	奈良教育大学附属中学校 体験実習	6
10/19	奈良育英中学校 体験実習	20
11/8	都南中学校(2年生) 職場体験実習	5
12/22	奈良教育大学教職員大学院 見学研修	5
2/27	東市小学校(3年生) 体験実習	21
合計		61

施設(内外)研修

日付	研修名	備考
4/29	きょうされん奈良支部総会	施設外
7/7	奈良セルブ・心身連合同BCP研修(奈良県社協)	施設外
7/22	株式会社ヘラルボニー5周年記念レセプション参加(盛岡)	施設外
7/25	安全運転管理者講習	施設外
7/28	きょうされん基礎講座	施設外
8/3	奈良県強度行動障害支援者養成研修	施設外
8/26	法人全体研修	施設内
8/30	きょうされん全国大会IN埼玉	施設外
9/2	全国障害者問題研究会 動画研修	WEB
9/11	奈良県相談支援従事者研修(9/16)	施設外
11/15	発達支援とひきこもり支援研修	WEB
11/17	奈良介護福祉中央学院 見学	施設外
12/2	法人全体研修会	施設外
2/14	奈良市障害者虐待防止研修(奈良市福祉センター)	施設外
2/17	法人総括会議	施設内
2/25	全障研全国大会IN奈良プレ企画青年成人期の働くを考える	施設内

9. 地域との連携

- ①東市クリーンコミュニティに参加し地域清掃に取り組んだ。
地域の方との共同清掃活動を、こっからの仲間全員(参加希望者を毎回募る)が関わることになり交流が広がった。(毎月第三火曜日14時から1時間)。
- ②こっから横の休耕地をお借りし、仲間の取り組みとして野菜作りを行った。

10. 設備改修

- 床暖房給湯器入れ替え
- 汚水桝配管洗浄
- パソコン購入
- 8人乗り車両購入(1台)
- 耐水畳葺き替え
- とうふ工房IH調理器入れ替え
- 軽自動車購入(1台)
- 飛散防止フィルム施行

■ここに／すたあと事業報告

1. 施設の概要

- ① 設置主体 社会福祉法人こぶしの会
- ② 施設名 ここに／すたあと
- ③ 所在地 奈良市古市町2159-4 / 奈良市出屋敷町140-2
- ④ 開設日 平成23年6月1日
- ⑤ 施設種別 就労継続支援B型
- ⑥ 定員 20名
- ⑦ 建物等 ここに 113.24㎡(1階木造平屋建て)
すたあと 79.48㎡(2階木造合金メッキ鋼板葺き)
- ⑧ 作業内容 ここに 野菜等の販売、惣菜等製造販売、グループホーム夕食づくり
すたあと 軽作業、グループホーム除草作業
- ⑨ 施設職員 ここに 常勤正規4名(うち兼務2名) 非常勤3名
すたあと 常勤正規2名(うち兼務1名)

2. 利用者の状況

- ① 利用者数 ここに 10名(男性5名/女性5名)
(3月末時点) すたあと 6名(男性2名/女性4名)
日中一時 2名(男性1名/女性1名)
- ② 平均年齢 ここに 37.8歳(21歳~64歳)
すたあと 42歳(33歳~55歳)
- ③ 障害手帳 ここに 療育手帳A(1名)/B(8名) 精神保健福祉手帳 3級(1名)
すたあと 療育手帳A(3名)/B(2名) 精神保健福祉手帳 2級(1名)
- ④ 居住地 ここに 奈良市(10名)
すたあと 奈良市(5名)、生駒市(1名)
- ⑤ 通所方法 単独通所
- ⑥ 労働時間 9:30~16:00
- ⑦ 給料 日給制 2,000円 1,500円 1,000円 800円 600円 400円 特別調理手当(200円/回)
平均工賃20,659円/月(前年度と計算方法が異なる)
- ⑧ 行事 賞与(年間2ヶ月支給) 年度末に期末手当を支給(2万円をベースに出勤率で計算)
季節ごとに実施 ※別紙参照
- ⑨ 負担金 実費負担/食費、旅行積み立て、自治会費
- ⑩ 自治会活動 毎月1回の全体会

3. 施設運営

- ・13年間に渡る無認可小規模作業所運動の実践を基礎に、地域に根ざした施設運営をめざす
- ・どんなに重い障害があっても「働く」ことと人間的に発達することを大切にし、すべての障害のある人たちの権利保障をめざし活動する
- ・障害のある人の生活支援を通じて、誰もが安心して豊かに暮せる地域づくりをめざす

4. 利用実績

就労継続支援B型事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
営業日数	20	21	22	21	20	20	
登録者数	16	16	16	16	16	16	
総利用者数	263	266	286	251	243	266	
1日平均利用数	13.2	12.7	13.0	12.0	12.2	13.3	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
営業日数	21	22	19	19	19	21	20.4
登録者数	16	16	16	16	16	16	16.0
総利用者数	250	243	237	233	235	261	252.8
1日平均利用数	11.9	11.0	12.5	12.3	12.4	12.4	12.4

5. 補助・助成事業

- イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンにより、日用品を購入した。

6. 事業活動

就労支援事業

	ここに・すたあと合計
事業収入	7,891,913
前年度比	98.1%
材料費	4,090,897
前年度比	94.3%
労務費	3,115,050
経費	361,408
収支差額	325,403

7. 見学・研修

施設見学・研修

日付	来所者	人数

8. 行事等

各月行事・イベント

	内 容
4月	きょうされん奈良支部総会
5月	ウクライナコンサート/川上村温泉
6月	岩船寺あじさい
7月	恐竜博(大阪)
8月	きょうされん全国大会in埼玉
9月	京都市動物園
10月	琉球コンサート
11月	こっから祭り/ここすた旅行(神戸布引ハーブ園)/田原地区 玉ねぎの苗を植える会
12月	あいサポーター研修/クリスマス会
1月	石切神社
2月	春咲きコンサート
3月	田原地区 キウイ苗定植イベント&月ヶ瀬温泉/きょうされんパン製菓交流会

体験・実習

日付	来所者	人数
2/22-26	こっからよりB型利用希望者の実習受け入れ	1

施設(内外)研修

日付	研 修 名	備 考
4/1	一峰会(和歌山)視察&管理者交流会	施設外
5/8	全障研学習会「無念」が時代の扉をこじあける 講師:三木祐和さん	施設外
6/12	法人新任研修	施設内
6/23-24	きょうされん荒彫塾セミナー(東京)	施設外
7/8	社保協学習会「いのちのとりにて裁判について」講師:雨田 信幸さん	施設外
7/22	ぜんち共済「障害者の権利に関する条約」講師:赤松 英知さん	施設外
7/28-29	きょうされん基礎講座(奈良)講師:深谷弘和さん、向本博俊さん	施設外
8/26	法人全体研修	施設内
8/27	全障研学習会「読み解けば見えてくる自閉症児の心と発達」講師:熊本勝重さん	施設外
9/6	社保協学習会「奈良県の福祉医療についての学習交流会」講師:寺内順子さん	施設外
10/6-8	きょうされん荒彫塾セミナー(広島)	施設外
10/14	グループホーム学習交流会	施設内
10/21	フードバンク学習会「考えよう 地域で子どもを支えるとは」講師:伊藤嘉余子さん	施設外
12/9	滝山病院事件を考える学習会 講師:相原啓介さん	施設外
2/25	全障研学習会「ライフワイドの視点で考える青年成人期の人格発達・働く意味」	施設外

9. 地域との連携

- ・自治会主催の町内清掃に参加した
- ・コロナの影響で、東市まるごと子どもフェスタ、椿祭は中止
ここに市でのマッサージは中止、生け花教室は感染状況に応じて開催。
- ・田原地区キウイプロジェクトに参加(月一回)

10. 活動総括

- ・工場清掃、果樹園落ち葉集めなど新たな施設外での仕事として取り組んだ。
- ・仲間の給料昇給を2名行い、年二回のボーナスに加え、年度末に期末手当を支給した。
- ・地域貢献としての清掃活動、ここに市の開催、GH配食事業を行った。
- ・合同開所日や、仲間自治会等を行い「ここに」「すたあと」の仲間の交流を図った。
- ・農業専門家派遣(3回)を受け、キウイ栽培等についての指導を受けた。
- ・日中一時支援事業を開始(8月～)
- ・能登半島地震支援(1.5次避難所での障害・高齢者支援)に参加した。
- ・西本願寺わかくさ福祉寄金より電動草刈り機の贈呈があった。

■ふゅーちゃー事業報告

1. 事業所の概要

- ① 設置主体 社会福祉法人こぶしの会
- ② 事業所名 (1) ケアホーム春日苑(共同生活援助)
 - (i) 共同住居すまいる
 - (ii) 共同住居ぐうぐうハウス(2) すまいる(短期入所)
- (3) ひまわり(共同生活援助)
- (4) 支援センターふゅーちゃー
- ③ 所在地 (1) 奈良市古市町93-1
 - (i) 共同住居すまいる 奈良市古市町93-1
 - (ii) 共同住居ぐうぐうハウス 奈良市古市町2139-41(2) 奈良市古市町93-1
- (3) 奈良市古市町1846-80
- (3) 奈良市古市町529-1
- ④ 施設種別 (1) 共同生活援助(包括型)
- (2) 短期入所事業
- (3) 共同生活援助(日中サービス支援型)
- (4) 居宅介護、重度訪問介護、行動援護、移動支援(奈良市、御所市)
- ⑤ 定員 (1) 15人
- (2) 4人
- (3) 11人
- (4) 定員はなし
- ⑥ 職員 33人(常勤専任4人、常勤兼任5人、非常勤24人)

2. 利用状況

① 利用状況

別紙のとおり

3. 事業所の運営

① 運営の概要

- (1) 共同住居すまいるにて奈良市9名、大和郡山市1名の共同生活援助の実施
共同住居ぐうぐうハウスにて奈良市4名の共同生活援助の実施
- (2) ひまわりにて奈良市9名、御所市1名、生駒市1名の共同生活援助の実施
- (3) 令和5年10月よりすまいるにて短期入所の再開(2Fのみ)実施。

■こぶしの会相談支援センター 事業報告

1. 事業の概要

- ① 施設名 こぶしの会相談支援センター
- ② 所在地 奈良市古市町529-4
- ③ 開設日 平成26年9月1日
- ④ 事業種別 指定計画相談支援 障害児相談支援
- ⑤ 職員 1名

2. 事業

①相談支援活動の概要

相談支援契約者数は91人と2名増となっている。今年度も1名体制での業務となったが、相談支援初任者研修を修了し、来年度からは0.1人分の配置ができるめどが付いた。ここにすたあとの6名を徐々に引き継ぎはじめることができた。年間の相談支援件数は272件、月平均約23件となっている。奈良市基幹相談支援センターとの連携で対応しているケースが2件稼働中である。また、委託相談や、基幹相談支援から新規受任要請があったが、担当ケースが90件を超えていることから断っている。今後は安定してきたケースについてはモニタリング月を短くして、要請にも応えられるよう工夫をおこなっていくが、今後、法人内で相談支援事業をどう位置付けていくのか、制度の動向などを注視しながら、引き続き議論をしていくことが必要である。

②障害児相談

高等部卒業者が何名かおり、障害児枠での相談件数は減となったが、就学前や、小学校低学年の利用希望は増えている。奈良市では、障害児相談事業所が足りず、セルフプランが4割を占める状況であることも大きい。就学前相談にも対応できるよう、発達診断の基礎知識や療育・教育分野についても研修を重ねながら対応してきたが十分とは言えない。また、今年度は実際の利用相談だけでなく、DV・虐待対応で、他自治体に引き継いだケースに改めて関わったり、ひきこもる子どもの相談や支援機関に繋ぐために時間を割くこと等が複数あった。本人や家族との関係から簡単には委託や基幹相談に投げることのできないケースは一定数ある。利用支援にとどまらない困難ケースについては、保健、医療、教育、司法等関係機関と連携して対応することが必要である。

③地域の相談

地域でサービスにつながりにくい人は、困難を解消する手立てが薄く、その穴を相談支援の実働で埋めることは多い。また、複数のサービス、複数の支援者で生活を支えているケースは、支援のための共通認識を築いていくのに時間がかかり、事業所間でトラブルも起こりやすく、本人も含めた調整が必要となった。福祉事業全体が人手不等によって、サービスを縮小、したり、支援の質が低下せざるを得ない状況もみえてきた。一方、チームとして経験を積んだところは、相談支援の介入もなく自立的に支援をすすめられてきている。ひきつづき、家族支援、外国籍の困難事例などは引き続き幅広い分野の学習もしつつとくむ。自立支援協議会や相談支援事業所連絡会等を通じて必要なしくみや、社会資源をつくらせることが引き続き必要である。

④法人内相談活動

法人内の日中事業所利用者については、継続支援件数は減っている。新規のグループホーム入居者をはじめ、状態が落ち着いてきた人については、モニタリング回数を徐々に減らしてきた。一方、こぶしの会以外のショートステイや、居宅支援、他の生活介護を利用するケースは増え、事業所探し、見学、体験、支援会議など実働することは多い。日中事業所と利用調整したり、支援内容について共有が必要となっている。また、高齢家族からの相談も増えており、家族による送迎や、通院同行が難しくなるケースも散見される。高齢の家族に対して地域包括や、介護サービスのつなぎを相談支援が担うこともあり、身近な相談窓口となっている。今後も増加傾向となろう。家族の状況などを支援者と丁寧に関わり、必要な手立てを工夫し編み出していくことが求められる。

⑤その他

相談支援事業所連絡会などが徐々に開催されるようになり、ケース検討会については定例参加してきた。委託相談事業の消費税課税問題では、自立支援協議会の相談支援部会や、行政に情報提供し、その問題点や、対応の在り方について発信してきた。きょうされん相談支援部会も引き続き実態調査や要望活動を続けており、協力、注視していく。相談支援の力量を高め、ライフステージを見越した支援の提案ができるために引き続き幅広い分野で自主研修をすすめていく。

3.利用実績

(件数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
計画相談	3	6	4	5	7	6
モニタリング	23	23	15	20	13	16
児童	2	3	6	3	3	6
成人	24	26	13	22	17	16
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
計画相談	9	8	10	8	4	4
モニタリング	21	16	10	19	14	20
児童	2	2	7	2	3	7
成人	28	22	13	25	20	21
	合計	H30	R元	R2	R3	R4
計画相談	74	90	68	94	102	101
モニタリング	210	179	208	217	241	219
児童	46					45
成人	226					275

登録91人 内訳:児童10人、成人81人 児童:就学前1人、小学3人、中学1人、高等部5人
 コツから・ここに・すたあと所属61人 地域30人

4. 研修

施設(内外)研修

日付		備考
5/28	全障研総会(講演:三木裕和氏 発達保障)	自主
5/21	相談支援連絡会議(基幹相談について)	自主
7/9	全障研トークイベント「高齢期を生きる」田中智子氏	自主
8/5-6	全障研大会 分科会:地域生活、放課後デイ	自主
8/30-31	きょうされん埼玉大会(分科会:相談支援)	施設外
9/22	きょうされん防災学習会	自主
9/26	奈良教育大付属小 教育相談会	自主
10/9	4者協 総括所見学習会 深谷弘和氏 越野和之氏	自主
10/10	自立支援法違憲訴訟団 学習会	自主
10/26	児童扶養手当併給調整訴訟 判決傍聴 報告集会	自主
11/10	きょうされん拡大相談支援部会	施設外
11/6	自立支援法違憲訴訟団 定期協議	自主
11/18	福祉専攻科ジョイアススクールつなぎ10周年記念	自主
11/25	みんなのねがい発達学習会(白石正久・恵理子氏)	自主
12/3-4	きょうされん近畿北陸ブロック研修	自主
12/9	滝山病院事件学習会(相原啓介氏)	自主
12/12	磯城郡地域自立支援協議会学習会講師(総括所見)	講師活動
12/22	奈良教育大大学院外部授業講師	講師活動
1/26-27	きょうされん経営管理者総合研修会	施設外
1/31	相談支援事業所連絡会	自主
2/18	春咲コンサート	自主
2/25	全障研青年成人期プレ企画(阪東俊忠氏、三木裕和氏)	自主
3/21	優生保護問題学習決起集会	自主
3/30	全障研学習会(原田文孝氏)	自主

◆共同生活援助事業(包括)

事業所名称	ケアホーム春日苑							
事業所開設年月日	2006 年 10 月 1 日							
事業種別	共同生活援助	事業類型	包括型					
定員	15	年度内の定員変更の有無	(無)	有の場合	→			
					年	月より		
年度内延べ利用	3574 人日	区分、種別 毎延べ利用	区分1	0 人日	区分2	0 人日	区分3	0 人日
			区分4	738 人日	区分5	1377 人日	区分6	1459 人日
年度開所日数	366 日		年度利用率			60 %		
年度内取得加算	夜間支援体制加算	重度障害者支援加算	処遇改善加算Ⅰ		特定処遇改善加算Ⅱ			
	帰宅時支援加算	ベースアップ支援加算						
年度末登録者	14 人							
障害福祉サービス費以外の費用負担	食費	900円	/日	備考	昼食提供の場合400円			
	実費(家賃)	47,000円	/月	備考	全員補足給付10,000円給付			
	実費(光熱水費)	9,000円	/月	備考				
	実費(その他)	3,000円	/月	備考	共益			
	実費(その他)	300円	/月	備考	教養娯楽			

経過的 居宅介護対 象	区分毎 延べ利用	区分4	0	人日
		区分5	0	人日
		区分6	0	人日

人員配置		常勤	非常勤 (常勤換算)	派遣等 (常勤換算)	業務委託 (常勤換算)	合計
	管理者	1		0	0	1
	サービス管理責任者	1		0	0	1
	看護師等	0		0	0	
	生活支援員	4	5	0	0	9
	世話人		8	0	0	8

業務委託	給食(全面)		給食(部分)	○	清掃	○	洗濯	
	送迎		宿直		労務管理		会計・請求	
	その他							

併設短期入所	有	(無)	定員	4	区分	医療型	福祉型
定員の変更(年度内)	有	(無)	→		月より		
年度開所日数			日				
障害児利用状況		区分1	区分2	区分3			
	短期のみ	0	0	0			
	日中含む	0	0	0			
障害者利用状況		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
	短期のみ	0	0	2	28	12	0
	日中含む	0	0	0	0	0	0

◆共同生活援助事業(日中)

事業所名称		ひまわり						
事業所開設年月日		2022 年 5 月 1 日						
事業種別	共同生活援助	事業類型	日中サービス支援型					
定員	11	年度内の定員変更の有無	(無)	有の場合	→ 年 月より			
年度内延べ利用	2,790	区分、種別 毎延べ利用	区分1	0 人日	区分2	234 人日	区分3	457 人日
			うち 日中含む	0	うち 日中含む	0	うち 日中含む	
	人日		区分4	713 人日	区分5	247 人日	区分6	1,139 人日
			うち 日中含む	212	うち 日中含む	37	うち 日中含む	172
年度開所日数	363 日	年度利用率	70 %					
年度内取得加算	処遇改善加算Ⅰ	特定処遇改善加算Ⅱ	帰宅時支援加算	ベースアップ支援加算				
年度末登録者	11 人							
障害福祉サービス費 以外の費用負担	食費	900円	/日	備考	昼食提供の場合400円			
	実費 (家賃)	47,000円	/月	備考	全員補足給付10,000円給付			
	実費 (光熱水費)	9,000円	/月	備考				
	実費 (その他)	3,000円	/月	備考	共益			
	実費 (その他)	300円	/月	備考	教養娯楽			
経過的 居宅介護対 象	区分毎 延べ利用	区分4	0	人日				
		区分5	0	人日				
		区分6	0	人日				

人員配置		常勤	非常勤 (常勤換算)	派遣等 (常勤換算)	業務委託 (常勤換算)	合計
		管理者	1			
サービス管理責任者	1					1
看護師等						
生活支援員	4	5				9
世話人		10				10

業務委託	給食(全面)		給食(部分)	○	清掃		洗濯	
	送迎		宿直		労務管理		会計・請求	
	その他							

併設短期入所	(有)	無	定員	1	区分	医療型	(福祉型)
定員の変更(年度内)	有	(無)		→			月より
年度開所日数	0	日					
障害児利用状況		区分1	区分2	区分3			
	短期のみ	0	0	0			
	日中含む	0	0	0			
障害者利用状況		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
	短期のみ	0	0	0	0	0	0
	日中含む	0	0	0	0	0	0